

令和 5 年 3 月 6 日

名張市立北中学校

校長 山崎 博史 様

名張市立北中学校学校運営協議会

会長 内山 克則

令和 4 年度 学校運営協議会評価書

1. 自己評価書全般について

○重点的な取組事項－１（わかる授業づくりと学習意欲の向上）について

・生徒同士の「つながり」を「しかけること」をテーマに授業研究及び実践を、校区をあげて取り組んできたということですが、学校生活のほとんどが授業であり、コロナ禍が続くなか、つながりが希薄になることによる影響が子どもたちの生活に表れてきています。タブレットの活用と共に、「協働的な学び」の実現に向けて、取組を継続してもらいたい。

・「ノーメディアディ」の取組を中学校区で必要性を協議し、課題を共有しながら、取組を進めたことは素晴らしいことです。スマホ依存、自学自習、読書習慣など子どもたちを取り巻く環境の変化にどのように対応して働きかけていくかが大切であり、その後の検証、継続した取組をお願いします。

・運営協議会委員、教員ＯＢの協力を得ての補充学習の取組が広がりました。新たにコミュニティ・スクールの事業として展開されたことが素晴らしいと思います。このことを教職員、保護者とも意義を共有し、教職員から特に必要とする生徒へのはたらきかけ等、さらに一体となる取組に発展させていきたい。

○重点的な取組事項－２（豊かな人間関係と居場所づくり）について

・生徒相互が認めあい教師がほめる、励ます、認める等の取組により、全体的に落ち着いた学校生活を送れていることが素晴らしいです。

・学級満足度調査においては、満足群が減少しており、生徒会目標の一つである「いじめのない学校」について、「そう思う（「ややそう思う」を含めず）」が、45.3%（R3 年度：63.4%）になっていることは、これから学校づくりを進めていくうえで、大切な材料であると考えます。

・これらの結果を、教職員も、生徒自身も共有し、生徒が主体的に取り組んでいく足掛かりとされたい。

・学校運営協議会としても、どんなサポートをしていけばよいか検討していきたい。

○重点的な取組事項－３（生き方を学ぶ教育活動の充実）について

・地域と学校が一体となって子どもを育て地域を育てる場として、防災の取組は大切な切り口であり、コロナ禍であるにもかかわらず、大きな一歩を踏み出すことができました。また、ZOOMにより各教室でその様子を見て、災害時に地域の一員としてできることを考えたことは、現在の、気候変動等から起こる風水害や南海トラフを震源とする巨大地震がいつ起こってもおかしくない状況にある中での取組として、防災による生き方を学ぶ教育として評価できると思います。

す。継続した取組となることを願います。

- ・学校運営協議会としては、生徒が主体となって取組を進めるために、生徒の代表と学校運営協議会（地域連携部会を中心に）との懇談の場を設け、生徒と地域住民が共に考えていく場をもちたい。

- ・小学校6年生が中学校1年生の合唱を鑑賞する場や、出前授業などの計画が、コロナ禍で進めることができなかったが、「あいさつ運動」「いじめ撲滅動画配信」など、精力的に取り組んできたことが素晴らしいと思います。

- ・北中学校区小中一貫教育グランドデザインを更新し、年間3回の研修会を実施したということですが、このことが定着し、さらに学校の力が高まることを期待します。

2. 学校から提示された「課題」や来年度への方向性について

○学校支援部会

- ・夏季休業中に、学習支援の場を設定し、宿題支援、2学期への不安の解消に向けての支援を継続していきたい。

- ・本年度、和楽器体験学習（音楽科）の場として、天正乱太鼓を披露していただいたが、他にも、学習支援も含め、ボランティア登録制度をつくっていきたい。

- ・中庭の環境整備を北斗会と連携してすすめていきたい。

- ・北側フェンスの改修を、学校、PTA、教育委員会と連携しながら検討し、進めていきたい。

○地域連携部会

- ・名張市総合防災訓練の日に合わせて、北中学校避難所開設訓練を行う。生徒の主体的参加を促すために、代表生徒と懇談の場を持ち、意見交換をしながら進めていきたい。

3. その他

○校区小学校の学校運営協議会との連携が大切である。本年度、北中学校区の校長と学校運営協議会会長が集い、中学校区のコミュニティ・スクールについて共通理解を図る機会をもつことができたが、来年度も実施したい。

○制服の変更について

- ・北中学校の制服は、令和5年度より、男女の区別のないように、完全ブレザー化される。については、なぜ、他の中学校より先んじて取組を進めたのか教職員間で共有し、その意味を念頭に置き、学校づくりの礎として、取組を進められたい。

- ・また、市内中学校では、まだ取組が進んでいないようである。名張市教育委員会には、各中学校が、男女の区別がない制服の導入に向けて、検討を進めていくよう指導していただきたい。

○北中学校の生徒数が、校区変更により減少していくが、このことを受け入れ、少人数であるからこそできることを考え、北中学校の良さにつながるよう、学校運営協議会委員も尽力していきたい。（委員も、次年度より2名減とする。）